

レビュー項目 (事業名)	地域楽農生活センター開設支援事業と田舎暮らし農園施設整備支援事業の発展的統合による楽農交流人口増加に向けた支援の充実（地域楽農生活センター開設支援事業）				部（局）	農林水産部
					所管課	総合農政課
					担当班	楽農生活班
					連絡先	078-362-9198
開始年度	令和元年度	終了年度	令和5年度	関連計画等	ひょうご農林水産ビジョン2030	
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	市町・JA等
事業目的	地域における楽農生活 [※] の推進拠点（地域楽農生活センター）の開設の推進による、楽農生活実践者の拡大・楽農生活交流人口の増加 ※楽農生活：農作業体験や農山漁村との交流などを通して、もっと「食」や「農」に親しみ、より人間らしく豊かな暮らしを送ろうとする、本県が提唱する新たなライフスタイル					
事業概要	農業体験や野菜栽培講座の開催等により、農の学びや体験の場を展開する地域楽農生活センターの開設を支援 ○補助対象 市町・JA・市民農園運営者等 ○対象経費 楽農生活に関する情報発信や体験イベント・栽培講座開催に要する経費 ○補助率 1/2（補助上限：3,000千円、補助期間：2年間）					
業務フロー	① 申請（市町・JA・市民農園運営者等） → ② 受付・審査（県） → ③ 交付（県）					
R4レビュー時の外部委員会意見	・楽農交流人口増加に向けては、どうやって始めてもらうかなどが課題となる。始めてもらうには市町等のイベントと体験希望者等とのマッチングがうまくいっているかを確認する必要がある。 ・アウトカム指標が施策レベルの目標となっていることと、事業の最終目標がはっきりとしていない。楽農生活の実践イメージとしている「買う・食べる」「体験する」「学ぶ・育てる」「田舎暮らし・就農確保」の各段階に分けて目標を設定すべき。					
改善結果 (改善状況取組過程)	○体験希望者とイベントのマッチングに当たり、より細やかなニーズに対応できるよう、市町・JAを主体とするイベント実施から、個々の農林漁業者を主体とするイベント実施に重点を置く施策に転換 ○地域楽農生活センター開設支援事業は廃止 ○楽農生活に係る目標は以下のとおり設定 (1)「体験する」：農林漁業体験施設数（田舎暮らし農園施設整備支援事業） 事業で開設した農林漁業体験施設での新規イベント参加者数（田舎暮らし農園施設整備支援事業） (2)「学ぶ・育てる」：栽培講座受講者数（地域楽農生活センター開設支援事業） 栽培講座数（地域楽農生活センター開設支援事業） (3)「田舎暮らし・就農確保」：農園施設整備の実施地区数（田舎暮らし農園施設整備支援事業）					
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額	5年度決算額	6年度当初予算額	7年度当初予算額
	事業費①		4,815千円	4,784千円	0千円	0千円
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円
		補助金・交付金	4,557千円	4,678千円	0千円	0千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	258千円	106千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(2,407千円)	(2,394千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(2,408千円)	(2,395千円)	(0千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		8,134千円	5,589千円	0千円	0千円
	執行率((①/②)×100)		59.2%	85.6%	—	—
人件費③ (a+b+c)		従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.0人	従事人員 0.0人	
		2,477千円	2,475千円	0千円	0千円	
職員給与費	a	2,141千円	2,147千円	0千円	0千円	
賞与引当金繰入額	b	175千円	178千円	0千円	0千円	
退職手当引当金繰入額	c	161千円	150千円	0千円	0千円	
総コスト(①+③)		7,292千円	7,259千円	0千円	0千円	

レビューシート（令和4年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式3

	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度見込	7年度目標	最終目標【年度】								
評価	成果指標(アウトカム指標①) 楽農生活交流人口(万人) [農林漁業体験施設等利用者数] (ひょうご農林水産ビジョン2030)	目標	1,121	1,134	1,147	1,160	1,224								
		実績(見込)	1,129	1,069	(1,107)	(1,160)	【令和12年度】								
		(単位当たりコスト)	(6千円)	(7千円)	(0千円)	(0千円)									
		達成率(見込)	100.7%	94.3%	(96.5%)	(100.0%)									
価値	成果指標(アウトカム指標②) 栽培講座受講者数	目標	210	210	—	—	210								
		実績(見込)	178	191	—	—	【令和5年度】								
		(単位当たりコスト)	(47千円)	(61千円)	—	—									
		達成率(見込)	84.8%	91.0%	—	—									
指標	活動指標(アウトプット指標①) 栽培講座数	目標	70	70	—	—	70								
		実績(見込)	181	204	—	—	【令和5年度】								
		(単位当たりコスト)	(47千円)	(36千円)	—	—									
		達成率(見込)	258.6%	291.4%	—	—									
目標	終期設定	有(R5年度) 無													
	改善基準	—													
自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況(総合的評価)												
	<p>○有効性(評価指標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など 	<p>設定しているすべての指標について、目標に近い実績が上げられている。</p>	A ： 満 足 の い く 実 施 状 況	<p>○農林水産漁業体験施設数は増加傾向</p> <p><農林漁業体験施設数> (単位：施設)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農林漁業体験施設数</td> <td>58</td> <td>62</td> <td>126</td> </tr> </tbody> </table>					R4	R5	R6	農林漁業体験施設数	58	62	126
		R4		R5	R6										
農林漁業体験施設数	58	62	126												
<p>○効率性(最小のコストで最大の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫を行っているか など 	<p>事業費の1/2を事業開始から2年間支援しており、事業者の応分負担を求めている。</p>	<p>○R6から拡充した農林漁業施設へのソフト面の支援は想定を超える実績(アドバイザー派遣11事業者、体験コンテンツの磨き上げ・情報発信等の支援7事業者)</p>													
<p>課題・今後の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他</p>															
価値	<p>説明 [R5年度に事業を廃止]</p>														
外部委員会意見	<p>○委員会の意見を踏まえ、体験希望者とイベントのマッチング精度向上のため、個々の農林漁業者を主体とするイベント実施への転換が図られたことは、実効性の高い改善として評価できる。</p> <p>○また、楽農生活の実践段階(「体験する」「学ぶ・育てる」「田舎暮らし・就農確保」)に応じた指標設定がなされ、各指標において目標に近い実績が上がっている点も、事業の成果を可視化する上で有効である。</p> <p>○今後は、統合された田舎暮らし農園施設整備支援事業において、体験者のニーズに応じた内容やPR手法の検証、マッチング状況の把握・フィードバック、就農人口に関わるアウトカムの測定を通じて、さらなる交流人口及び就農人口の増加、地域活性化につなげることが期待される。</p>														